

対象クラス	2年 生活文化科 保育類型	単位数	3
使用教科書	子ども文化 (教育図書)		
使用副教材	こどものうた200(チャイルド本社)・ピアノ教則バイエル(全音楽譜出版社)		

「子ども文化」はこんな科目です。

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財に関する知識と技術を習得して、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てる科目です。乳幼児の遊びを理解し、現代の生活に基づく子どもの遊びや児童文化財・表現活動に重点を置いた科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・子ども文化の意義や子どもの遊びの重要性に気づき、具体的な表現活動・製作活動を通して知識や技術を身に付けていきます。
- ・全国高等学校家庭科技術検定保育4級・3級程度の保育技術の定着を図ります。
- ・地域に目を向け、子どもたちとの交流を通して発達の様子や児童文化財との関わりを理解していくことを目指しています。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題や体験学習などに関心をもち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫して創造しようとしているか。 ・課題の提出期限を守ることなど、将来の保育者として求められる行動を身に付けようとしているか。 	提出物の提出状況 授業態度課題への取組状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・常に、子どもの発達段階を考えた選択や習得した知識や技術を総合的に考えて検討しているか。 	授業態度 定期考査
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・造形、言語、音楽、身体などの表現活動の技術や習得した知識が作品に生かされているか。 	製作物、発表 実技テスト、課題への取り組み状況
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と子ども文化の重要性を知識として理解しているか。 	定期考査、レポート(課題)

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容		学習活動のねらい
前期中間	第1章 子ども文化とは何だろう 第6章 子ども文化を支える場 【前期中間考査】	<講義> ・子ども文化とは ・子ども文化を歴史から見る ・行政による公的な考え方 ・民間企業による考え方 ・子どものための各種施設	<実習> 一年間を通じて一 ・ピアノ演奏指導 ・絵本読み聞かせ ・看護の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・児童文化財の果たす役割を理解する。 ・社会の変化に伴い子どもの遊びの環境が変化していることを知る。
前期期末	第3章 子どもと表現活動 【前期期末考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表現活動の面白さ ・造る、描く ・言語表現活動 ・歌う、踊る、演奏する 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面構成 ・ペーパークラフト ・リトミック ・絵本の作製 ・紙芝居の作製 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパークラフトの技法を身に付ける。 ・製本方法を理解し、絵本・紙芝居として完成させコンクールへ出品する。
後期中間	第2章 子どもと遊び 【後期中間考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びと発達 ・遊びの現状 ・遊びと遊具・玩具 	<ul style="list-style-type: none"> ・手遊び ・紙芝居 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確なリズムと音楽理論を理解する。 ・言葉のリズムや音声の組み合わせを楽しんで表現活動を行う。
後期期末	第7章 子ども文化実習 【学年末考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと関わる前に ・遊びの観察と子供理解 ・インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサート ・エプロンシアター 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に及ぼす効果を理解し、創意工夫のある作品づくりができる。 ・音楽、リズム活動を様々な遊びに取り入れることができる。 ・将来の自分の進路を見つめる。

その他 外部講師による講演会・体験実習も随時行います。